

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第175号

令和2年2月4日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：046-222-6370

子どもサイエンスフェスティバル 2019 ②

子どもサイエンスフェスティバルの相模原大会は、相模原市立青少年学習センターで10年以上継続して開催しています。青少年学習センターの方々には「広報さがみはら」やテレビ神奈川の「猫のひたいほどワイド」などでも相模原大会を宣伝していただきました。

県立相模原高校・弥栄高校が助っ人に！

アシスタントを希望する出展団体は複数、しかし冬休み明けすぐの相模原大会に登録した高校生科学ボランティアは0人。運営の危機でした。その状況を聞いた地元の県立相模原高校と弥栄高校の生徒8人、予定を調整してくれた高校生科学ボランティア（愛川高校）1人が駆けつけてくれました。受付とブース⑦・⑩を手伝っていただきました。大感謝!!

第2回 子どもサイエンスフェスティバル 相模原大会

1月18日（土）相模原市立青少年学習センター 来場者 454名



開始直前から昼過ぎまで雪が降る寒い日でしたが、昨年度より31名多い来場者を迎えることができました。







「昨年楽しかったから、また来ました。」というピーターもいました。



相模原市立青少年学習センター



<p>①(特非) 神奈川県環境学習リーダー会</p>	<p>②三浦学苑高等学校 科学部</p>	<p>③さがみはら科学探検隊</p>
<p>挑戦！パワー全開。君は自分で自分を持ち上げられるか？</p>	<p>フラレンボールをつくろう</p>	<p>音で遊ぼう</p>
		
<p>ポリ袋で作ったエアバックに息を吹き込んで自分や家族・友達を持ち上げました。</p>	<p>12月の横須賀大会に引き続き、PPバンド製フラレンボール。高校生が子ども達に優しく教えました。</p>	<p>紙コップや紙皿など身近な材料で、音を楽しみながら、音が振動で伝わることを実感できる工作です。</p>
<p>④(公社) 日本技術士会 神奈川県支部</p>	<p>⑤(公社) 日本技術士会 神奈川県支部</p>	<p>⑥紅葉ヶ丘無線クラブ</p>
<p>磁石のくっつく力を利用した工作</p>	<p>ビー玉を使った不思議な動きの実験工作</p>	<p>電気・磁石の不思議をさぐる！ (電磁石を作ってみよう)</p>
		
<p>磁石の力で板の上をくるくる動く人形を作りました。かわいい動きをする人形に子どもたちも大満足です。</p>	<p>ビー玉を使った重心の原理による工作を、3つの中からひとつ選び、不思議な動きを観察しました。</p>	<p>昨年好評の電波の発信源を探る実験にかわり、リピーターも楽しめる新しい電磁石工作を出展しました。</p>

<p>⑦ 科学あそび隊 光の折り鶴</p>  <p>偏光板で挟んだプラスチックフィルム製折り鶴が虹色に輝きます。県立弥栄高校の生徒と一緒に作りました。</p>	<p>⑧ (株)リコー 360度カメラと遊ぼう</p>  <p>デジタルカメラの仕組みの説明に身を乗り出して聞いています。保護者の方も興味津々でした。</p>	<p>⑨ 古谷理科教育研究所 安全な「マトあてグッズ」の作成</p>  <p>ストローから発泡スチロール球が飛び出す、安全な吹き矢を作成して、マト当てをして遊びました。</p>
<p>⑩ WDB (株) エウレカ社 研究者と一緒にスライムを作ろう！</p>  <p>友達や親に見せて回ったり、帰りに受付で好きな色で作ったスライムを見せてくれる子どもが大勢いました。</p>	<p>⑪ おもしろ実験・科学工作指導者セミナー修了生有志 ういて まわせる おもしろマシン (UMO マシン®) をつくろう！</p>  <p>磁石の力で浮いて、空中で回転するマシンを、県立相模原高校・愛川高校の生徒と一緒に作りました。</p>	<p>⑫ はまぎん ども宇宙科学館 はまぎん ども宇宙科学館 出張サイエンスショー「とべ☆ロケット！！」</p>  <p>手作りロケットで打ち上げ実験を行いながら、ロケットが飛ぶ仕組みを確かめました。</p>

2019 子どもフェスティバル ここは遊びの秘密基地

おもしろ実験・科学工作指導者セミナー修了生 ～実験ショー～

1月26日(日) 青少年センター主催の「子どもフェスティバル」(子ども会大会)で、2019年度おもしろ実験・科学工作指導者セミナー修了生8人のうち5人が、実験ショーを披露しました。表現法や安全管理などのセミナーで学習したことを初めて一般のお客様に披露しました。協力して準備や片付けを行い、後で振り返るためにお互いにビデオを撮り合うなど、とても熱心に取り組んでいました。今後、それぞれの地域での活躍が大いに期待されます。

空気砲



空気のふしぎ



燃え方のふしぎ



高校生科学ボランティア ～ホールイベント～



紅葉坂ホールでは「いきものキャッチ！」と題しステージ上のジャングル内の動物のモビールを空気砲で狙いました。煙を込めてセットする高校生科学ボランティアが休憩をとる暇もないほどの大人気でした。
 ≪ハンディ空気砲(ゴミ箱製)≫

事務局から

今回ご紹介したイベントは、高校生ボランティアの大活躍のおかげで無事開催できました。イベントに参加した小学生たちが出会った高校生との思い出をきっかけに、いずれ高校生ボランティアとして活躍してくれたら嬉しいです。(事務局:千葉、伴、熊切、山田)